

令和4年(三)第15号

関西電力株式会社・高浜原子力発電所 1～4 号機運転差し止め仮処分命令申し立て事件

債権者 中島哲演 田内雄司

債務者 関西電力株式会社

証拠説明書(甲117～甲121)

令和5(2023)年2月17日

福井地方裁判所民事部 御中

債権者 田内雄司



号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲117	震源断層	写し	震源断層 大鹿村中央構造線博物館 (mtl-muse.com)	大鹿村中央構造線博物館	1995 年阪神大震災を起こした兵庫県南部地震 M7.3 は、地表に現れた断層は 20 km で、地下深く潜む震源断層は 60 km でした。地表断層の 3 倍の震源断層がありました。 どこのサイズを基に、未来に起きる地震の地震動を計算できますか？
甲118	資料 1-1 伊方発電所 3 号機新規制基準への適合性審査の	写し	伊方原子力発電所環境安全管理委員会原子力	四国電力株式会社	応答スペクトルに基づく地震動は、地下構造をボーリングして調べて、そのデータを使ってシミュレーションします。しかし、ボーリングした位置で

	進捗状況について(耐震性能)		安全専門 部会資料 平成 26 年 3 月 20 日		地下構造は変わっています。 ところが、シミュレーションするときは、地下構造は何処までも一定という条件で実施しています。地下構造は断層を境に変化します。またきれいに層状に重なっているものでもありません。ある所は厚く、ある所は薄く、傾斜をし、あんこ状の柔らかい層も挟まっています。そんな実情を無視したシミュレーションは無意味です。したがって、前提が事実と合わないシミュレーションで出した基準地震動は、間違いです。	
甲 119	高浜原発 3,4 号機の蒸気発生器交換を専門委が了承。40 年超運転のステップ、福井県は事前了解判断へ	写し	2023.2.1	福井新聞	高浜 3, 4 号は運転開始から 37 年が経過しており、関電は昨年 11 月、40 年を超えて運転する方針を決定。細管減肉のトラブルが相次いでいる SG の交換も決め、事前了解を求めている。	
甲 120	高浜原発 4 号機が自動停止、中性子検知器に異常か	写し	2023.1.30	産経新聞	4 号機には運転中の中性子レベルを監視する検知器が 4 つあり、異常を感知して原子炉は自動停止した。	
甲 121	【続報】自動停止の遠因か？高浜原発 4 号機で 1 月 25 日から「制御棒」の	写し	223.2.1	ABC ニュース	12 月 25 日と 29 日に制御棒駆動装置の異常を示す警報が作動。点検したが原因不明。30 日警報が鳴って装置の電流値が低く点検中に自動停止した。	

	警報が作動していたことが判明					
甲 122	原発 60 年超 多数決で容認 規制委 石渡氏反対 のまま	写 し	2023.2.14	東京新聞	政府は原発の「原則 40 年、最長 60 年」を再稼働の審査や司法判断で運転を停止していた期間を除き運転期間とする方針を決めた。規制委は石渡氏の反対を押し切って賛成を決めた。「原発の運転期間は利用政府側（推進派）が判断する事柄で、規制委は意見を言う立場にない」と言います。彼らは、税金ドロボウです。規制委は福島事故の原因が、「推進側が審査する体制が事故の原因」との反省で生まれました。ところが委員長は行政にしつぽを振ることに熱心です。国民は、原子力規制委は、原発の安全を担保してくれると信じています。 そのもっとも重要な義務を放棄する彼らは、公務員としての義務を果たしません。刑務所へ入れるべきです。	